

助成活動実績報告書

企画名	豊かな美咲町自然・環境、人づくり！
団体名	千年の森づくりグループ

①活動の目的について

2004年台風23号により山林が失われ、同年福祉・文化公園造成工事が行われ、森が失われました。地域、学校、ボランティアで年間計画を立てて植樹、メンテナンス、草刈りを取り組んできました。森作りは、ほぼ終了を迎え、自然の環境の維持活用、生徒の体感を進めています。

②内容について

今年でほぼ苗木育成管理を終えることができました。美咲の森、加美小、中央小、中央中学校との協働、出前授業で保全、再生、教育。

春はゴーヤのタネから苗づくり、グリーンカーテン事業。夏は皿川、打穴川、草刈安全確保、水辺の教室、ホテルの里保全支援、美咲の森草刈。秋は植樹。冬は過疎地区境の竹の除去、キノコの菌の植え付け、桜苗木500本を美咲町内に配布。11月16日の記念植樹は前後1週間かけての作業になりました。

10月には、美咲町中央図書館において、10日間、加美小学校、中央小学校、中央中学校の生徒の活動体験（出前授業）と夏休み中のF品の展示を協働で行いました。

③この活動によって達成された成果

過疎、耕作放棄地域の再生、竹の粉碎、再生。

広葉樹の森、トチ、松茸、ドンダリン、特産品の木の育成。

野鳥、ブッポウソウ巣箱取りつけ。

さくら（ソメイヨシノ）苗木500本寄付いただき、美咲町内に配布。

美咲町ニュース（オフトーク）にて3回報道、申込多数有り。

柵原100本、旭100本、中央300本（鬼山200本、美咲の森100本）植樹（12月30日完了）。

野鳥の数も増えており、災害で崩壊したホテルの里は、地元の井上さんが再生。

年末に来たソメイヨシノの苗を500本の内100本を植樹し、他の400本は、柵原に100本、旭に100本、中央鬼山に200本届けました。

自然体感広場最下部（30m下）に巨木の広場を目指し、アラカシ苗木を植樹。

④今後の計画・展望について

13年育成してきた森の樹木のメンテナンス

管理道の安全、草刈りの実施

広葉樹のタネの採取、苗の育成（土嚢土法）

ブッポウソウ巣箱の管理

美咲町中央小、加美小、中央中学校でのグリーンカーテン、桜の育成、管理の支援

今後10年、植えた苗木の管理が必要